

7. 2022 年度国際ユース作文コンテスト 募集

【その他】

1. CSO ラーニング制度 インターン生 募集
2. 三重県自然環境保全指導員 募集【三重】
3. 飯田市環境チェッカー 登録募集【長野】
4. 「あいち生物多様性企業認証制度」創設～認証制度の応募者募集【愛知】
5. あんじょう SDGs 共創パートナー 募集【愛知】
6. いなべ市 SDGs 推進パートナー 募集【三重】

♪イベント関連♪

「 1 」 【石川】「ななおをつなぐ」未来ビジョンフォーラム

七尾青年会議所主催（共催：ななお SDGs スイッチ、七尾市）で「ななおをつなぐ」未来ビジョンフォーラムを開催します。

詳細：<https://nanaojc.com/topics/2022/1404/>

開催日時：2022 年 5 月 8 日（日）13：00～16：40（予定）

開催場所：フォーラム七尾 多目的ホール（石川県七尾市）

主な内容：

○講演「地方創生と SDGs 未来都市」

竹田法信氏（株式会社プロジェクトデザイン社富山オフィスマネージャー）

○講演「よんなな会から学ぶ！セクターを超えたコミュニティの力」

脇雅昭氏（一般社団法人よんなな会発起人）

○講演「七尾マリンシティ構想の実現と地域ビジョンの重要性」

北原良彦氏（七尾商工会議所副会頭）

○パネルディスカッション「地域ビジョンと SDGs 未来都市」

パネリスト：竹田法信氏、脇雅昭氏、茶谷義隆氏（七尾市長）、

森山明能氏（七尾青年会議所理事長）

ファシリテーター：入口翔氏（七尾青年会議所 SDGs コンソーシアム連携室長）

定 員：150 人

申込締切：2022 年 4 月 30 日（土）

問 合 せ：七尾商工会議所 SDGs プロジェクト推進室
TEL：0767-54-8888 FAX：0767-54-8811

【 2 】 【愛知】 藤前干潟 生きものまつり（干潟観察会、石ころ干潟観察会）

NPO 法人藤前干潟を守る会は、「藤前干潟 生きものまつり」を開催します。
干潟観察会、石ころ干潟観察会のほか、各種団体のブース出展等があります。

詳 細：<http://fujimae.org/>

開 催 日：2022 年 5 月 1 日（日）

開催場所：藤前干潟／藤前活動センター（名古屋市港区）

《干潟観察会》

11：15～12：15（事前申込）、12：15～13：15（事前申込）

《石ころ干潟観察会》

10：30～11：30（事前申込）、14：00～15：00（当日受付）

参 加 費：大人 200 円 小中学生 100 円 幼児無料

定 員：各 15 名（申込者多数の場合は抽選）

参加受付：2022 年 4 月 17 日（日）0：00～16：00 の間にメールにて受付

問 合 せ：NPO 法人藤前干潟を守る会

TEL：080-5157-2002 メール：info@fujimae.org

【 3 】 【愛知】 2022 年度「あいち環境塾」塾生募集

愛知県は、企業や NPO などで活躍する持続可能な社会づくりのリーダーを育成する「あいち環境塾」の塾生を募集します。

詳 細：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/2022kankyojuku.html>

開 催 日：2022 年 6 月 4 日（土）から 11 月 26 日（土）までの間の計 13 日間

開催場所：名古屋商工会議所（名古屋市中区）

対 象：愛知県内の企業、団体、行政機関等に所属している方などでおおむね 60 歳までの方（原則、全 13 日間参加できる方）

内 容：資源循環や気候変動、生物多様性、SDGs など環境に関連する各分野の第一線で活躍する専門家の講師による講義、講師との意見交換、未来社会へ向けての環境に関するビジネスモデルや政策についての研究、成果発表など

募集定員：20 名（基礎コース）

参加費：55,000 円（消費税込み）

募集期間：2022 年 3 月 4 日（金）～5 月 9 日（月）

問 合 せ：公益財団法人名古屋産業科学研究所

TEL：052-223-6639 メール：kankyojuku@nisri.jp

【 4 】 【三重】「環境基礎講座 2022」受講者募集

三重県環境学習情報センターは、「環境基礎講座 2022」を実施します。

テーマを「地球温暖化」「自然・資源循環」に分け、各分野の専門家の方々から、地球環境や三重県の環境について幅広く学べる入門講座です。

詳 細：https://www.eco-mie.com/sponsored_courses/20220507_kankyou/

開催日程：2022 年 5 月～7 月（計 5 回）

開催場所：サン・ワーク津、みえ県民交流センター（三重県津市）

受講対象：三重県在住の 16 歳以上

テ ー マ：気候危機、新エネルギー、水循環、廃棄物・資源循環、森林

募集人数：各回 35 人（先着順）

申込締切：2022 年 5 月 10 日（火）

問 合 せ：三重県環境学習情報センター

TEL：059-329-2000 FAX：059-329-2909

メール：info@eco-mie.com

【愛知】第31回環境フォーラム

| 5 | 「グリーンリカバリー コロナ危機から考えるみらいのカたち」

グリーンリカバリーとは、新型コロナウイルス感染症の影響による経済停滞からの回復を気候変動対策とともに進める手法のことで、今日世界的に注目を浴びています。環境フォーラムでは気候変動に関する予測を改めて学び、コロナ危機で打撃を受けた経済の回復を世界中が図る今、どうしてグリーンリカバリーが唱えられているのかをお伝えします。

詳細：<https://www.facebook.com/stem.ecoforum/>

開催日時：2022年6月7日（火）13：30～17：00（受付開始13：00）

参加方法：(1) 会場参加 ウィンクあいち 2F 大ホール（名古屋市中村区）

(2) Web（オンライン）参加 ZOOM ウェビナー

内 容：

○第1部「グリーンリカバリーとは」

平田仁子氏（一般社団法人Climate Integrate 代表理事、千葉商科大学サイエンスアカデミー特別客員准教授）

○第2部「グリーンリカバリーの展望」

松下和夫氏（京都大学名誉教授、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）シニアフェロー）

申込締切：2022年5月27日（金）

問 合 せ：株式会社エステム 環境フォーラム実行委員会事務局

TEL：052-611-0611 FAX：052-612-9384

メール：stem-forum@stem.co.jp

| 6 | 【愛知】SDGs AICHI EXPO 2022 出展者募集

SDGs AICHI EXPO 実行委員会は、「SDGs AICHI EXPO 2022」の開催にあたり、テーマ「あいち発 未来共創パートナーシップ」に基づく5つのテーマゾーンに出展する企業・団体等を募集します。

詳細：<https://sdgs-aichi.com/index.html>

開催日程：2022年10月6日（木）～8日（土）10：00～17：00

開催場所：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）展示ホールA（愛知県常滑市）

出展対象：企業、NPO法人、社団法人、財団法人、学校・大学・専門学校、
地方自治体 など

テーマゾーン：

- (1) 脱炭素社会の実現 (2) 循環型社会の実現 (3) 自然共生社会の実現
(4) 多様性社会の実現 (5) 次世代の人づくり

出展料：無料～税込220,000円 ※対象等により異なる

募集期間：2022年3月4日（金）～8月1日（月）

問合せ：SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局（株式会社新東通信内）

電話：052-971-6233 メール：info@sdgs-aichi.com

【7】【愛知】環境教育インストラクター応募資格取得セミナー

NPO法人愛知環境カウンセラー協会主催（共催：NPO法人環境カウンセラー全国
連合会）で、環境教育インストラクター応募資格取得セミナーを開催します。

開催日時：2022年7月30日（土）・31日（日）10：00～15：40 [2日間]

開催場所：環境省稲永ビジターセンター（名古屋市港区野跡4丁目11-2）

受講資格：環境教育インストラクター認定取得を希望する方

研修概要：(1) 環境行政と環境教育

(2) ESDとSDGsについて

(3) 環境教育における安全対策

(4) 環境教育実践事例紹介（高校・大学・企業）

(5) 環境教育ワークショップ・グループ討議

定員：20名（先着順）

費用：一般5,000円、学生3,000円※審査は別途費用が必要（9,800円）。

参加申込：<https://forms.gle/VE9Sh8M1LtYHb1CE6>

（Googleフォーム）

申込締切：2022年7月22日（金）定員になり次第締切

問合せ：NPO法人愛知環境カウンセラー協会

メール : ut76374@cj8.so-net.ne.jp

♪ ツール・コンテンツ ♪

1 | 地域循環共生圏関連の事例集の公開

環境省は、地域循環共生圏関連の事例集（3種類）を公開しました。

○地域循環共生圏事例集「ローカル SDGs を生み出す地域のかたち」

地域で主体的に人々をつなぎコーディネートする人や、持続的な地域づくりを加速化する地域プラットフォームの存在を、地域循環共生圏づくりが進む3つの先進地域（岡山県真庭市、神奈川県小田原市、熊本県小国市）から紹介しています。

《事例集（冊子 PDF）》

<http://chiiki.junkan.env.go.jp/pdf/shiru/localsdgs.pdf>

○開発事業者と地域の連携事例集

SDGs の実現に向けて、開発事業者と地域の連携による持続可能な地域づくりを推進するため、都市やまちの再開発、農山漁村での再生可能エネルギー事業における取組事例を紹介しています。

《事例集（冊子 PDF）》

<http://chiiki.junkan.env.go.jp/pdf/shiru/kaihatsujirei.pdf>

○地域中核人材育成事例集

地域再エネ事業を進める上で考えられる、地域や組織内の合意形成や調整などの様々な課題に挑戦する「地域中核人材」の育成に関する事例集です。「地域再エネ事業の持続性向上のための地域人材育成事業」を通じて得られた知見やポイントのほか、実際に地域中核人材が活躍している先進事例についても紹介しています。

《事例集（冊子 PDF）》

<http://chiiki.junkan.env.go.jp/pdf/shiru/r3-human-resource-development.pdf>

環境教育教材

| 2 | 「みんなで変える地球の未来～脱炭素社会をつくるために～」の作成

環境省は、新たに、小・中学校向けの環境教育教材「みんなで変える地球の未来～脱炭素社会をつくるために～」を作成しました。

詳細：<http://www.env.go.jp/press/110831.html>

概要：「脱炭素教材」及び「学びの地図」で構成

(1) 「脱炭素教材」

脱炭素社会を目指す基礎知識についての動画教材及び授業での活動を例示する資料等により構成しています。

- ・ 小学校低学年向け…2つの動画教材
- ・ 小学校中学年・高学年向け…授業案・板書例・ワークシート、6つの動画教材
- ・ 中学校向け…授業案、板書例、ワークシート、4つの動画教材

(2) 「学びの地図」

学習指導要領において環境教育に関連するとされる各教科の内容を整理した「学びの地図」をESDモデルプログラム（授業展開例・実践例）と関連付けて再構成し、環境教育・ESDの実践の参考となるWebページとなっています。

《「みんなで変える地球の未来～脱炭素社会をつくるために～」》

http://eco.env.go.jp/lib/env/cn_education/index.html

問合せ：環境省大臣官房総合政策課環境教育推進室

TEL：03-5521-8231 メール：sokan-kyoiku@env.go.jp

| 3 | 【岐阜】ぎふ環境学習ポータルサイトを公開

岐阜県は、県民による主体的な環境学習を支援するため、環境関連情報や企業等が行う環境学習プログラム、学習教材などを一元的に集約・管理し、ワンストップで活用できる「ぎふ環境学習ポータルサイト」を新たに公開しました。

詳細：<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/212530.html>

サイト名：ぎふ環境学習ポータルサイト

主な掲載内容：

(1) やってみよう！環境にやさしいこと

- ・環境にやさしい行動のヒントをシーン別（自宅、買物等）に具体的に紹介

(2) テーマ別に学ぶ

- ・温暖化・気候変動など7分野の取組みを分かり易く説明
- ・関連するサイトや学習教材などを紹介

(3) キッズページ

- ・子どもたちが自主学習などに活用できるページを作成

(4) 環境学習プログラムを探す

- ・学校や家庭等で気軽に体験できる環境学習プログラムの検索・予約機能を搭載

《ぎふ環境学習ポータルサイト》

<https://gifu-kankyo.pref.gifu.lg.jp/>

問 合 せ：岐阜県環境企画課

TEL：058-272-8231 FAX：058-278-2610

メール：c11265@pref.gifu.lg.jp

┌

| 4 | 【長野】めざせ！長野ゼロカーボンライフ

└

長野県地球温暖化防止活動推進センターは、脱炭素型ライフスタイルへの転換をめざし、「住居」「食」「移動」「消費財」「レジャー」の5分野で、「すでに実施している or 実行したい」選択肢をチェックしていくと、どのくらい“ゼロカーボン（脱炭素）”に近づけるか、シミュレーションできるページを開設しました！

詳 細：<https://nccca.or.jp/zc-life/index.html>

問 合 せ：長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL：026-237-6625

♪助成金・表彰等♪

┌
| 1 | 公益信託富士フィルム・グリーンファンド（活動助成・研究助成）募集
└

公益信託富士フィルム・グリーンファンドは、2022年度の助成対象となる活動や研究を募集しています。

詳細：http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf_ken.htm

応募資格：活動助成を申請するものは、身近な自然の保全や自然とのふれあいを積極的に行っていること

研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

助成件数：8件程度、総額850万円を予定

応募締切：2022年5月6日（金）

問合せ：公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局

（一般財団法人自然環境研究センター内）

TEL：03-6659-6310 FAX：03-6659-6320

┌ 「緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業」、

| 2 | 「子供たちの環境学習活動に対する助成事業」募集
└

高原環境財団では「緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業」および「子供たちの環境学習活動に対する助成事業」を募集しています。

詳細：<https://takahara-env.or.jp/>

《緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業》

対象者：日本国内に所在する法人、地域活動団体

対象事業：(1)屋上、(2)建物の外壁面、(3)駐車場、(4)空地、(5)プランター等で行う新たな緑化事業で、樹木、芝、多年草等を植栽するもの

助成対象地・施設：事業地が、日本国内の都市部またはその周辺地であること

《子供たちの環境学習活動に対する助成事業》

対象者：日本国内の保育園、幼稚園、小学校、および NPO 法人等の地域活動
団体

対象事業：小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に
関する体験・学習活動

対象活動：活動参加者が、おおむね日本国内の都市部またはその周辺地域居住
者であること

募集締切：2022 年 5 月 11 日（水）必着

問 合 せ：公益財団法人高原環境財団

TEL：03-3449-8684

FAX：03-5420-3418 ※FAX は業務委託先(株)ユービーエス宛

メール：mail@takahara-env.or.jp

「
| 3 | そらべあスマイルプロジェクト公募 [第 80・81・82 基目]
」

そらべあ基金は、全国の幼稚園・保育園・こども園などを対象として、太陽光
発電設備「そらべあ発電所」の寄贈及び、園の環境教育活動を支援します。

第 80・81・82 基目となる今回は、ソニー生命保険株式会社の協賛により 3 園に
太陽光発電設備を寄贈いたします。

詳 細：<https://www.solarbear.jp/news/smileproject/2431/>

寄贈内容：1) 太陽光発電設備（5kw 相当）3 基（1 基／園）

2) 環境教育プログラム「そらべあちゃんの日」

寄贈園の環境教育&エコ・アクションを推進する支援プログラム

募集締切：2022 年 5 月 30 日（月）書類必着

問 合 せ：そらべあ基金事務局

TEL：03-3504-8166

メール：info@solarbear.jp

4 | コメリ緑資金ボランティア助成 募集

コメリ緑資金ボランティア助成では、コメリ従業員が参加・お手伝いする緑化活動に対して、活動で使用する花苗・プランター・土などの購入資金として助成金を贈呈いたします。

詳細：<http://www.komeri-midori.org/koubo/volunteer.html>

助成対象：コメリ従業員が参加して行う、幼稚園・保育所・小中学校・特定施設（老人施設・養護施設等）の校内緑化活動など、公共性のある緑化活動が対象です。

活動期間：2021年7月1日から2022年6月30日までに実施する活動

応募締切：2022年5月31日（火）

問合せ：公益財団法人コメリ緑育成財団事務局

TEL：025-371-4455 FAX：025-371-4151

メール：midori@komeri.bit.or.jp

5 | 令和4年度 中山間地域チャレンジ支援事業 募集【富山】

富山県は、令和4年度中山間地域チャレンジ支援事業として、富山の中山間地域を元気にするアイデア（提案事業）を募集します。

詳細：

<https://www.pref.toyama.jp/140406/sangyou/nourinsuisan/nousangyoson/charenji210720.html>

募集内容：集落等と地域内外の企業・団体が連携して取り組む中山間地域の活性化に向けた試行的な活動

募集対象：集落・地域運営組織、企業、任意団体 など

採択件数：14件程度（予定）

支援内容：25万円／年を限度に最大3年間補助
（知事特認地区は50万円／年を限度）

募集期間：2022年4月1日（金）～4月28日（木）

問 合 せ：富山県地方創生局ワンチームとやま推進室中山間地域対策課

TEL：076-444-9607 FAX：076-444-4561

【 6 】 「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク連携促進補助金 募集【岐阜】

岐阜県は、「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークの会員が実施するSDGsの普及啓発に資する事業に対する支援として、補助金事業の募集を開始しました。

詳 細：（補助金募集）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/215725.html>

（ネットワーク入会）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/94353.html>

対 象：「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークの会員

対象事業：SDGsの普及啓発に資する、次の(1)～(3)の事業のいずれかを選択

- (1) イベント開催事業（県民・ネットワーク会員が参加できるもの）
- (2) 情報発信事業（無償で提供するもの）
- (3) 人材育成事業

募集期間：2022年4月1日（金）～6月30日（木）

問 合 せ：岐阜県清流の国推進部 SDGs 推進課

TEL：058-272-8251 FAX：058-278-2562

【 7 】 2022年度国際ユース作文コンテスト 募集

公益財団法人五井平和財団は、「持続可能な開発のための教育：SDGs達成に向けて（ESD for 2030）」を推進する事業として、2022年度国際ユース作文コンテストを開催します。

詳 細：<https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>

TEL : 03-3349-4614 FAX : 03-3348-8140

【 2 | 三重県自然環境保全指導員 募集【三重】

三重県は、県内の自然環境の保全に関する巡視等を行う「三重県自然環境保全指導員」を県民の方々から募集します。

詳細 : <https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0026100162.htm>

活動内容 : 自然環境保全地域や自然公園における利用施設の巡視、自然公園利用者などへの指導または助言、自然環境保全に関する情報収集等

応募資格 : 三重県内に居住する、令和4年7月1日現在の満年齢が20歳以上の方で、時間的制約が少なく積極的に活動できる方

任期 : 令和4年7月1日から令和6年6月30日まで(2年間)

募集人員 : 57名(県内57の地域に各1名配置)

応募締切 : 2022年4月15日(金)

問合せ : 三重県農林水産部みどり共生推進課

TEL : 059-224-2578 FAX : 059-224-2070

【 3 | 飯田市環境チェッカー 登録募集【長野】

飯田市では、令和4年度(2022年度)、令和5年度(2023年度)の2年間、飯田市環境チェッカーとして活動をしていただける方を募集します。

詳細 :

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/19/kankyouchekka-boshuu.html>

対象 : 飯田市内にお住まいの方 ※小学校5年生以上

活動内容 : (1) 飯田市からお願いする環境についての調査や意見の報告
(2) 自然観察会などの環境に関する行事への参加

任期 : 2年間(2022年4月~2024年3月)

募集人数：110人

申込締切：2022年4月30日（土）

問合せ：飯田市環境課

TEL：0265-22-4511 FAX：0265-22-4673

【 4 】 「あいち生物多様性企業認証制度」創設～認証制度の応募者募集【愛知】

愛知県は、企業の生物多様性保全に関する取組を促進するため、優れた取組を
実践している企業を県が認証する、「あいち生物多様性企業認証制度」を創設し、
応募者の募集を4月から開始しました。

詳細：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/certification.html>

申請対象：愛知県内に本社または事業所を置く、法人格を有する民間企業

メリット：・愛知県自然環境課 Web ページに掲載

- ・認証書の授与
- ・認証企業マークの使用（企業 PR のために、名刺、会社案内などに
使用できます）

認証基準：「あいち生物多様性戦略 2030」等に応じて、5つの大項目からなる。

1. 組織の方針・体制等
2. （豊かな生態系を）まもる
3. （生息生育空間を）つなげる
4. （生きものの恵みを）つかう
5. （人と自然との共生を）ひろめる

募集期間：2022年4月4日（月）～7月29日（金）

問合せ：愛知県環境局環境政策部自然環境課

TEL：052-954-6475 FAX：052-963-3526

【 5 】 あんじょう SDGs 共創パートナー 募集【愛知】

安城市は、碧海信用金庫と連携して「あんじょう SDGs 共創パートナー」制度を立ち上げ随時募集を行っています。安城市とともに SDGs の達成に取り組むパートナーの応募をお待ちしております。

詳細：

<https://www.city.anjo.aichi.jp/event/sdgs/anjosdgsyousoupa-tona-.html>

対象：SDGs 達成に向けた取り組みや活動を実施している（実施する予定がある）企業・団体等

メリット：自社の取組事例を市と連携して対外的にアピールできます。

SDGs 未来会議及びメールマガジン等を通じてパートナー間のマッチングが期待できます。

「あんじょう SDGs 共創パートナー」オリジナルロゴマークを使用することができます。

問合せ：安城市企画部健幸＝SDGs 課

TEL：0566-71-2204 FAX：0566-76-1112

メール：kikaku@city.anjo.lg.jp

6 | いなべ市 SDGs 推進パートナー 募集【三重】

いなべ市は、SDGs の活動に取り組んでいる、力を入れている企業や団体の皆様を「いなべ市 SDGs 推進パートナー」として認定し、市と連携して SDGs に取り組める制度を始めました。

詳細：

<https://www.city.inabe.mie.jp/shisei/keikaku/1008293/1011109.html>

対象：SDGs の活動に取り組んでいる企業や団体

メリット：「いなべ SDGs 推進パートナー認定証」を交付します。

「いなべ市 SDGs 推進パートナー」のオリジナル盾を交付します。

市ホームページ等で SDGs の取組内容等を紹介します。

いなべ市と連携して SDGs の取組を推進できます。

問 合 せ : いなべ市商工観光課

TEL : 0594-86-7833

【本メールマガジンについて】

本メールマガジンは、転送自由です。

○申込・解除 : <https://www.mag2.com/m/0000233904.html>

○バックナンバー

そらいろ通信 ~EPO-Chubu メールマガジン

<https://www.epo-chubu.jp/mail-magazine>

発信元 : 環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)

中部地方 ESD 活動支援センター

TEL : (EPO) 052-218-8605 / (ESD) 052-218-9073

FAX : 052-218-8606

メール : info@epo-chubu.jp

URL : (EPO) <http://www.epo-chubu.jp>

(ESD) <http://chubu.esdcenter.jp/>

〒460-0003 名古屋市中区錦 2-4-3 錦パークビル 4F
